

第2学年国語科 学習指導案

平成27年6月17日(水) 3校時
2年1組(男子12名 女子9名 計21名) 本時 10/13
授業者 池谷 康史

- 1 **単元名** ばめんごとに読もう
教材名 「お手紙」(東京書籍2年上)

2 単元の目標

- 物語を読むことに興味を持って楽しんで読み、自分が大好きな登場人物をお話会で紹介することができる。(関心・意欲・態度)
- 場面の様子について、登場人物の行動を中心に想像を広げながら読むことができる。(C 読むこと ウ)
- 文章の中の人物の行動や様子を表す言葉を書き出すことができる。(C 読むこと エ)
- 文の中における主語と述語との関係に注意することができる。(言(1)イ(カ))

3 単元について

(1) 単元観

①本単元で取り上げる主な指導事項

本単元は、小学校学習指導要領・国語の第1学年及び第2学年「C 読むこと」の指導事項「ウ 場面の様子について、登場人物の行動を中心に広げながら読むこと。」と伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項「カ 文の中における主語と述語との関係に注意すること。」を取り上げて指導する。

②単元を貫く言語活動とその特徴

「C 読むこと」の言語活動例「オ 読んだ本について、好きなどころを紹介すること。」を具体化した、「ぼく・わたしの大好きな登場人物をお話会で紹介しよう」という言語活動を位置付ける。

ここで取り上げる「お話会」は、並行読書でがまくんとかえるくんシリーズ全4冊から20話を読み、大好きな物語を選び、その中に登場する人物(がまくん・かえるくん)について行動や想像した気持ちから、好きなどころやそのわけをリーフレットにまとめ、友だちに紹介し合うものである。今回紹介し合う対象は、一緒に並行読書に取り組んできたクラスの友だちと隣のクラスの友だちである。児童は、シリーズを読み進めていくうちに関連性や登場人物の性格などについて想像豊かに読み進めていくと考えられる。

本教材は、がまくんとかえるくんを中心に物語が展開していく。がまくんとかえるくんのやりとり(会話文)が多く、読んでいく上で主語(「～は」)と述語(「～しました。」)を明確にさせ、誰が話しているのかを理解しながら読み進めていく必要がある。大好きな場面を選ぶ際、2人の登場人物の行動に着目し、それぞれの登場人物の行動を根拠として、登場人物の気持ちを豊かに想像できるようにリーフレットにまとめるという方法で取り組んでいくようにする。リーフレットにまとめることを通して、大好きな場面の理由や登場人物の行動が整理され、お話会で紹介し合う際の有効な手がかりになってくるであろう。このことが、「場面の様子について、場面においての登場人物の行動を中心に想像を広げながら読むこと。」(C 読むこと ウ)、「文章の中の大事な言葉や文を書き抜くこと。」(C 読むこと エ)の実現につながると考えられる。

(2) 児童観

児童は、「花いっぱいになあれ(1年3月)」で、自分の好きな場面を語のまとめや言葉の響きを楽しんで読む学習を行い、「風のゆうびんやさん(2年4月)」では場面の様子や人物の気持ちを想像しながら読む学習を行った。今年度の標準学力調査の結果を見ると、

自分の考えが明確になるように文を書く力、語彙力に課題が見られた。つまり、自分の考えを焦点化させることに抵抗を感じる児童が多いと考えられる。そこで、リーフレット作りを通して、なぜその場面・その登場人物が好きなのか、登場人物のどの行動からそう思ったのか、といった点を明確にさせることが、自分の考えを焦点化させることになるように考えた。本単元ではA・Bワンセット方式を行うことで個人差に対応することができるように自分の考えを明確にしていきたい。また、語彙力を補うために人物の性格を表す語彙を「ことばの宝箱」として、児童が読書の中、生活の中で見つけた言葉を小黒板に掲示していき登場人物がどんな人か考える時の手立てになるように仕組む。

(3) 指導観

児童は、本単元の学習準備として、「ふたりはシリーズ（全20話）」の並行読書に取り組んだ。また今回、登場人物の性格を表す言葉については、第0次として語彙を広げるためにいくつかの性格を表す語彙を提示し、リーフレットを書く際、児童が自ら選んで使うことができるように支援する。

第一次では、教師による本の読み聞かせを聞いたり、「お話し」のモデルを見たりして単元のゴールイメージをもつとともに、物語を楽しみ、がまくんかえるくんシリーズの登場人物に興味をもつ。そして、自分が選んだお気に入りの物語の大好きな場面と大好きな登場人物を紹介し合う学習のめあてをもつ。

第二次では、登場人物はどんな人か考え、根拠となる行動を挙げることによって、物語を大きくつかむ。登場人物のしたこと（行動）に着目しながら自分が大好きな場面をはっきりとさせ、その場面の中で大好きな登場人物もはっきりとさせる。さらに、なぜその場面が好きなのか理由を考える際には、登場人物のしたことを根拠として、それを読んだときの思いや、その場面での登場人物はどんな気持ちだったのか想像することで、豊かな読みへと広げていきたい。

交流では、個々の学習やペア・全体での学習を効果的に用いることで意見交流をより深め、シリーズ読書の楽しさを味あわせ、読書活動に広げていきたい。特に大好きな場面の理由をあげる時は、登場人物のとった行動から気持ちを想像することや2人の関係を読むことで「大好き」のわけを深めていく。友だちと交流する時もこの点をはっきりと伝えることができるように支援する。

また、「ふたりはシリーズ（全20話）」を読んで交流することで、それぞれの物語に出てくるがまくんとかえるくんを関連させて共感したり、登場人物の新たな一面にも気付くことができるのではないかと思われる。これもシリーズ読書のよさである。今回も「花いっぱいになあれ（1年3月）」に続き、A・Bワンセット方式で読みの深まりをねらう。

第三次では、第二次で選んだお気に入りの物語の登場人物について、したことや会話文から20話を通してのそれぞれの登場人物のよさについて交流を深める。その時に自分の読んできた物語と関連させた交流ができるようにしたい。そして、がまくんとかえるくんの世界を楽しんだ後は、この学習で付けた力を活用させるために自主学習ノートを使った家庭学習へ広げたり、シリーズ読書へ広げたりしていきたい。ある一定期間前から並行読書を始めたのは、A・Bワンセット方式において読書量を確保したうえで「B」の活動に広がりを持たせることができるようにするためである。

本時では、自分が選んだお気に入りの物語の好きな場面のわけを考える学習を行う。前時に「お手紙」の中の好きな場面のわけを考える学習を行っているので、児童は既習を生かしながら学習に取り組むことができるであろう。わけを考える上でも「だれが」「何をしたのか」といったことを明確にする必要がある。既習の主語・述語を活用し、登場人物の人物像を手がかりに好きな登場人物がどんなことをしたのか、それを読んでどんなことを思ったのか、自分の考えを焦点化させ、好きな場面のわけをまとめさせていきたい。次の活動としての好きな場面のわけを全体で交流する際、言語活動の質の高まりをねらう。単に、自分の好きな場面を発表するだけで終わることがないように、同じ物語を選んでいる児童などを意図的に指名し、「○○君の好きな場面のわけを聞いて、あなたはどう思いますか。」と問いかけ、友だちと自分の考えを比較させる。同じ物語を選んでも好きな場面が違ったり、好きな場面が同じでもわけが違っていたりなど、自分の考えを振り返

させるきっかけにし、子ども同士がつながりのある意見交流を仕組む。

(4) 研究テーマとの関連

主体的に児童が学ぶためには、与えられた指示に従って学習を進めるだけではなく、児童自身が単元を通した学ぶ目的をもち、見通しをもって言語活動を進めていく展開にしていく必要がある。そこで、導入では、本の読み聞かせと「お話会」のモデルを見て、単元のゴールイメージを具体的に示す。単元全体の学習の見通しをもたせることで目的意識をもち、友だちに大好きな物語の好きな場面・好きな登場人物を紹介する学習に取り組ませたい。児童は、友だちに大好きを知らせるためにリーフレット作りを主体的に進めていくと考えられる。

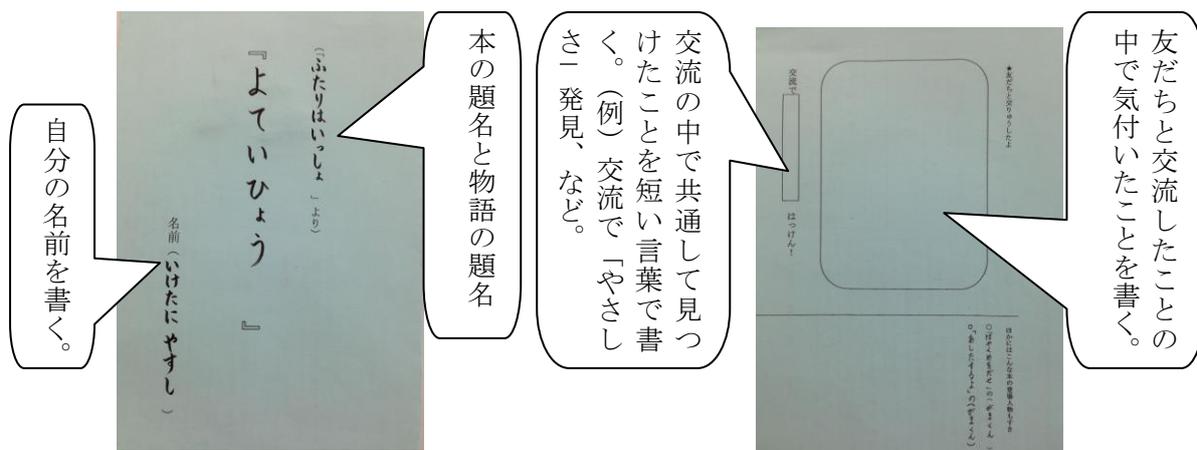
児童自ら主体的に活動するためには、「分かった」「できそう」「もっとやってみたい」という思いをもつこと、「できた」という実感、そして機を逃さない評価が重要になってくる。「分かった」(理解) → 「やってみよう」(意欲) → 「できた」(達成感)の学習の流れをスムーズにするためにA・Bワンセット方式の学習は効果的である。そのためには、次時の学習に関する家庭学習を出すことによって、次の日の準備をし、児童のリーフレット作りに対する意欲を途切らすことがないよう取り組んでいく。

また、交流し合う場面においては、自分の考えや思いをただ発表するだけでなく、意図的な指名を行い、共感できるところや違いを出し合うことで、自分が考えたことを改めて考えさせられるように仕組んでいく。並行読書を意欲的に行い、教材文で学んだことを生かし、並行読書の本やノートを見ながら、意欲的に大好きリーフレット作りに取り組み、お気に入りの物語の好きな場面の好きな登場人物をお話会で自信をもって紹介する姿が主体的に活動する児童の姿だと考える。

4 単元の評価規準

国語への 関心・意欲・態度	・物語を読むことに興味を持って楽しんで読み、自分が好きな登場人物をお話会で紹介している。
読む能力	・場面の様子について、登場人物の行動を中心に想像を広げながら読んでいる。(ウ) ・文章の中の人物の行動や様子を表す言葉を書き出している。(エ)
言語についての 知識・理解・技能	・文の中における主語と述語との関係に注意している。イ(カ)

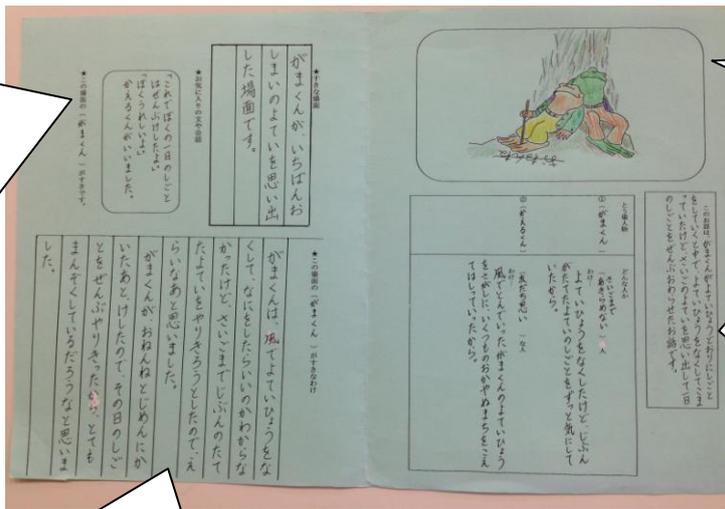
<言語活動のモデル「大好きリーフレット」>



- ・色画用紙の色は4色。シリーズ（並行読書）ごとに色分けしているなので、そのシリーズと同じ色画用紙を使う。

※大好きリーフレット 中を開いたところ

「くが：した場面です。」と好きな場面を書く。さらに、その場面の中でも好きな会話文や地の文を書き抜く。好きな登場人物をはっきりさせる。



お気に入りの場面の絵を描く。

既習事項のお話のまとめと、それぞれの登場人物がどんな人か根拠となる行動を理由として挙げながら記述する。

大好きな場面について、なぜ好きなのか、自分の気持ちも入れて理由を書く。また、その場面の登場人物の気持ちも想像して記述する。

5 専科として

今学期は、4年生の「みんなで新聞を作ろう（書く）」、2年生の「お手紙（読む）」を中心に取り組みを進めている。2学期は1年生の「かいがら（読む）」、6年生の「物語をつくろう（書く）」、3学期は5年生の「伝えよう委員会活動（書く）」、3年生の「モチモチの木（読む）」といったように「書く」・「読む」単元のバランスを考えて単元構想を作成した。その中で感じたことは、「書く」「読む」どちらの単元でも目的意識をもたせ、単元のゴールを明確にすることの重要さである。今回、2年生に並行読書の記録カードを用意し、読んだ物語の題名とその評価を記入させ、リーフレット作りに生かすことができるように仕組んだ。児童の中には、題名と評価だけでなく、登場人物の性格やどんなお話か、どんなことを思ったのか記入している児童が数名いた。これは、単元のゴールイメージが明確になっているため、児童がただ読むのではなく、何のために読んでいるのか、目的意識をもって並行読書に取り組んでいる姿であると考える。こういった児童の姿が低学年から継続して次の学年へとつながっていけるように校内で広めていきたい。また、読む単元においては音読の時間も確保したい。やはり、教材文は間違わずにすらすら読める力が必要であると考えられる。本校は学校全体で5分前行動を心がけている。このことを生かし、始業前に大きな声で教材文やお気に入りの物語を音読するように指導している。すらすら文章が読めるということは、内容を大体把握していると考えられる。家庭でも、学校でも音読の時間を確保することで、大体の内容・あらすじを理解することにつながり、発表時においても自信をもって自分の考えを述べることができ、そのことが全体交流などの場面で生かされるはずである。この積み重ねが、標準学力調査や学力テストなどの初見の文章を読む時にも生かされると考える。

T・Tの在り方については、毎時間の学習の展開を通して本時の学習の流れを共通理解し、机間指導の際、児童のかかわり合いの中で考えが広がったり深まるであろう児童の考えを拾い、そのことをもとに意図的に指名を行い、意見交流が活発になるように仕組んでいる。

今回の提案授業は、研究テーマに迫る提起として校内で共通理解を図り、考察しながら明日の授業実践に生かしていきたい。

6 単元構想図

単元を貫く言語活動

登場人物がしたことに着目して、お気に入りの物語の好きな登場人物をお話会で紹介し合う。

◇学習の流れ

第一次

- 本の読み聞かせとお話会のモデルを見て、物語を読むことへの興味をもつ。
- 『ふたりシリーズ』の中からお気に入りの物語の好きな場面、好きな登場人物をお話会で紹介し合う。」という学習のめあてをもつ。

第二次

- A**登場人物を確認し、「お手紙」の大まかなあらすじをつかむ。挿絵から簡単な場面分けをする。
- B**登場人物を確認し、自分のお気に入りの物語の大まかなあらすじをつかむ。簡単な場面分けをする。
- A**「お手紙」の中の好きな場面と人物を書く。
- B**自分の選んだお気に入りの物語の中の好きな場面と人物を書く。
- A**・**B**好きな場面や人物について理由を考えて書く。
- A**・**B**好きな登場人物を選んでいる子ども同士で交流し、全体でも交流する。

第三次

- クラスの友だちと、かえるくんグループ・がまくんグループに分かれて、それぞれのよさをシリーズを関連させながら交流する。
- 学習の振り返りを行う。

◇意識の流れ

【児童の実態】

自分の考えを焦点化させることに抵抗を感じる。

- ・登場人物のしたことについて好きを決めて紹介するんだね。
- ・がまくんとかえるくんシリーズ、たくさん読んでいるよ。いろいろ読んだけど、この物語でお話会に参加してみよう。

- ・登場人物は、がまくんとかえるくんだ。
- ・前の時間に学習したから、この時間は自分でできるよ。
- ・かえるくんは、○○な人だね。がまくんは、どんな人だろう。
- ・この場面が好きだなあ。理由は……。
- ・この場面のがまくんが好きです。そのわけは、……。
- ・大好きリーフレットができてきたよ。
- ・○○君の選んでいる物語と私の選んでいる物語、同じ本の中に入っていたね。
- ・自分と友だちの考えを比べてみよう。

- ・私は、この物語でかえるくんの優しさについて紹介したいです。
- ・がまくんのよさはね、……。
- ・「ふたりシリーズ」はおもしろいね。つながっているんだね。他のシリーズも読んでみたいな。

単元で付けたい力

- ・自分の好きな場面の様子について想像を広げて読むために、登場人物の行動や会話に着目しながら読む力。

7 指導計画及び評価計画（全13時間）

	時	学習活動		主な評価規準	
第一 次	1	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">これから学習のめあてを知ろう。</div> <ul style="list-style-type: none"> 教師による読み聞かせ、お話会のモデルを見る。 単元の流れを知る。 		【関】 「ぼく・わたしの大好きな登場人物を紹介し合う」というめあてに興味をもち、これからの学習に意欲的に取り組もうとしている。 (発言、行動観察、ノート)	
	2	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">お話会に向けて「お手紙」の話を簡単にまとめよう。</div> <ul style="list-style-type: none"> 登場人物をおさえる。 		【読】 登場人物がしたことや出来事に気を付けて、内容の大体を読んでいる。 (ノート、教材文、発言)	
第二 次	3	A	4	B	【読】 登場人物がしたことや出来事に気を付けて、内容の大体を読んでいる。 (ノート、教材文、お気に入りの物語、発言) 【言】 文の中における主語と述語の関係に注意して読んでいる。 (ノート、教材文、お気に入りの物語、発言)
		<div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">お話会に向けて「お手紙」はどんな場面からできているか考えよう。</div> <ul style="list-style-type: none"> 挿絵をたよりに場面を大まかにとらえることであらすじをおさえる。 			
	5	6	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">お話会で紹介するために「お手紙」に出てくる登場人物はどんな人か考えよう。</div> <ul style="list-style-type: none"> それぞれの登場人物の行動をもとに、どんな人物か考える。 	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">お話会で紹介するために、お気に入りの物語に出てくる登場人物はどんな人物か考えよう。</div> <ul style="list-style-type: none"> それぞれの登場人物の行動をもとに、理由を挙げながら、どんな人物か考える。 	
7	8		<div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">お話会で紹介するために「お手紙」の中の好きな場面をまとめよう。</div> <ul style="list-style-type: none"> 自分の好きな場面について、登場人物のしたことをもとに、好きな場面をはっきりさせてまとめる。 好きな会話文や地の文を書き抜く 	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">お話会で紹介するために、お気に入りの物語の中の好きな場面をまとめよう。</div> <ul style="list-style-type: none"> 自分の好きな場面について、登場人物のしたことをもとに、好きな場面をはっきりさせてまとめる。 好きな会話文や地の文を書き抜く。 	【読】 場面の様子について、登場人物の行動を中心に読んでいる。 (大好きリーフレット、発言) 【言】 文の中における主語と述語の関係に注意して読んでいる。 (ワークシート、教材文、お気に入りの物語、発言)

第二次	9	<p>お話会で「大好き」が伝わるように「お手紙」の好きな場面のわけをまとめよう。</p> <ul style="list-style-type: none"> 自分の好きな場面について、登場人物のしたことについての自分の思いを入れながら理由をまとめる。 好きな場面の人物の思いについて想像を広げながらまとめる。 	10 本時	<p>お話会で「大好き」が伝わるように、お気に入りの物語の好きな場面のわけをまとめよう。</p> <ul style="list-style-type: none"> 自分の好きな場面について、登場人物のしたことについての自分の思いを入れながら理由をまとめる。 好きな場面の人物の思いについて想像を広げながらまとめる 	<p>【読】場面の様子について、登場人物の行動を中心に想像を広げながら読んでいる。 (大好きリーフレット、教材文、お気に入りの物語、発言)</p> <p>【言】文の中における主語と述語の関係に注意して読んでいる。 (大好きリーフレット、教材文、お気に入りの物語、発言)</p>
	11	<p>お話会で「大好き」が伝わるように「お手紙」の好きな登場人物について交流しよう。</p> <ul style="list-style-type: none"> これまでの学習をもとに「お手紙」の登場人物の行動を中心に大好きな場面や人物について交流する。 「大好き」に同じ人物を選んでいる子ども同士で交流させる。 	12	<p>お話会で「大好き」が伝わるように、お気に入りの物語の好きな登場人物について交流しよう。</p> <ul style="list-style-type: none"> これまでの学習をもとに、お気に入りの物語の登場人物の行動を中心に大好きな場面や人物について交流する。 「大好き」に同じ人物を選んでいる子ども同士で交流させる。 	<p>【関】『ぼく・わたしの大好きな登場人物をお話会で紹介し合う』というめあてに向かい、大好きな場面や人物をはっきりさせ、自分が読んだことを相手に意欲的に伝えようとしている。 (発言、大好きリーフレット、行動観察)</p>
第三次	13	<p>かえるくんとがまくんのよさについて交流しよう。</p> <ul style="list-style-type: none"> これまで読んできた「ふたりシリーズ」と関連させながら、自分の好きな登場人物についていいところや、前時の友だちとの交流から発見したことを話し合う。 国語日記を書いて、これまでの学習の振り返りをする。 		<p>【関】「ふたりシリーズ」について、シリーズを関連させながら大好きな人物のいいところやシリーズに共通することを相手に意欲的に伝えようとしている。 (発言、行動観察)</p>	

8 学習の展開

第二次 7時間目 (9/13)

- (1) 目標 自分の好きな場面の様子や人物について、登場人物の行動を中心に想像を広げながら読み、好きな理由を書くことができる。
- (2) 展開

主な学習活動と予想される児童の反応	指導上の留意点 (○) 評価 (☆) 支援 (※)
<p>1 本時の課題をつかむ。</p> <p>思考したくなる課題設定</p> <p>お話会で「大好き」が伝わるように</p> <p>「お手紙」の好きな場面のわけをまとめよう。</p>	<p>○単元のゴールイメージを共有し、目的意識をもたせる。</p> <p>○数人に好きな場面を少しだけ紹介させ、本時への興味をもたせる。</p>
<p>2 課題を解決する。</p> <p>自力解決の場</p> <p>(1) 「お手紙」の好きな場面と人物について理由をリーフレットに書く。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・どうやって書けばいいのかな。 ・これまで学習してきたことを生かすことができるぞ。 ・ぼくの好きな場面は～で、その場面のがまくんが好きだな。わけは・・・。 <p>(2) ペアで交流する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・○○くんは、あの行動から、そんな風にしたのか。 ・私は、その場面を選んでないけど、○○さんの考えはよく分かるな。私も、その場面を読んで時、・・・。 <p>かかわり合う授業</p> <p>(3) 全体で交流する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ぼくと同じ場面を選んでるよ。 ・わけが私と似ているね。 ・ぼくはその場面を選んでないけど、がまくんが～したところから…だと思った。 <p>3 今日の学習の振り返りをする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・みんな、登場人物の行動をもとに考えていたね。 	<p>○教師の作ったリーフレットを紹介する。</p> <p>○挿絵 (①～⑤場面) を掲示する。</p> <p>○登場人物のしたこと (行動) について自分の思いや考えを書くことができるようにする。</p> <p>※①～⑤場面をそれぞれ簡単にまとめたことを想起させ、どの場面が好きか尋ね、その場面の誰が好きか尋ね支援する。</p> <p>※これまでに書いた登場人物の行動 (リーフレットの上段) を思い出して、なぜその場面を選んだのか声をかけることで、理由が書けるように支援する。</p> <p>☆場面の様子について、登場人物の行動を中心に想像を広げながら読んでいる。</p> <p>【読】 (大好きリーフレット、発言)</p> <p>☆文の中にある主語と述語の関係に注意して読んでいる。</p> <p>【言】 (大好きリーフレット、発言)</p> <p>○友だちと違うところや同じところを比べながら興味をもって聞くことができるようにする。</p> <p>○今日学習したことをもとに感想を交流する。</p>
<p>4 次時の学習について知る。</p> <p>家庭学習のサイクル化</p> <p>家庭学習 お気に入りの物語を音読し、好きな場面のわけを考えてくる。</p>	<p>○次時は、お気に入りの物語の中の好きな場面について、なぜその場面が好きなのか、そのわけを考えることを伝える。</p>

第二次 8時間目（10／13） 本時

- (1) 目標 自分の好きな場面の様子や人物について好きな理由を書くことを通して、登場人物の行動を中心に想像を広げながら読むことができる。
- (2) 展開

主な学習活動と予想される児童の反応	指導上の留意点 (○) 評価 (☆) 支援 (※)
<p>1 本時の課題をつかむ。</p> <p>思考したくなる課題設定</p> <p>お話会で「大好き」が伝わるように</p> <p>お気に入りの物語の好きな場面のわけをまとめよう。</p>	<p>○単元のゴールイメージを共有し、目的意識をもたせる。</p> <p>○数人に好きな場面を少しだけ紹介させ、本時への興味をもたせる。</p>
<p>2 課題を解決する。</p> <p>自力解決の場</p> <p>(1) お気に入り物語の好きな場面と人物について理由をワークシートに書く。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・どうやって書けばいいのかな。 ・昨日、「お手紙」でやったようにするぞ。 ・私が好きな場面は～で、この場面のがまくんが好きだな。わけは、～をした時に、…と思ったから。 <p>(2) ペアで交流する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・○○くんは、あの行動から、がまくんのことをそんな風に思ったのか。 ・私は、その物語を選んでないけど、○○さんの考えはよく分かるな。私も、その物語を読んだ時、・・・。 <p>かかわり合う授業</p> <p>(3) 全体で交流する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・好きな物語も場面も同じで、わけも似ているな。 ・あの物語のあのがまくんの行動から、そなんことを思ったのか。ぼくは、・・・と思ったよ。 <p>3 今日の学習の振り返りをする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・みんな、登場人物の行動をもとに考えていたね。 	<p>○前時をもとに、登場人物の行動について自分の思いや考えを書くことができるようにする。</p> <p>※前々時に書いた登場人物の行動（リーフレットの上段）を思い出して、なぜその場面を選んだのか声をかけ、理由が書けるように支援する。</p> <p>※教師の作ったリーフレットを参考にする。</p> <p>☆場面の様子について、登場人物の行動を中心に想像を広げながら読んでいる。</p> <p>【読】 (大好きリーフレット、発言)</p> <p>☆文の中にある主語と述語の関係に注意して読んでいる。</p> <p>【言】 (大好きリーフレット、発言)</p> <p>○友だちと違うところや同じところを比べながら興味をもって聞くことができるようにし、友だちの意見の内容に対しての感想を返すようにする。</p> <p>○今日学習したことをもとに感想を交流する。</p>
<p>4 次時の学習について知る。</p> <p>家庭学習のサイクル化</p> <p>家庭学習 お話会に向けて「お手紙」の大好きリーフレットで好きな場面と人物について紹介できるように練習してくる。</p>	<p>○次時は「お手紙」のお話会をすることを伝える。</p>

第二次 9時間目 (11/13)

(1) 目標 大好きな場面や人物をはっきりさせ、意欲をもって自分が読んだことを相手に分かるように伝えようとしている。

(2) 展開

主な学習活動と予想される児童の反応	指導上の留意点 (○) 評価 (☆) 支援 (※)
<p>1 本時の課題をつかむ。</p> <p>思考したくなる課題設定</p> <p>「大好き」が伝わるように</p> <p>「お手紙」の好きな登場人物についてお話会を開こう。</p>	<p>○単元のゴールイメージを共有し、目的意識をもたせる。</p> <p>○数人に好きな場面を少しだけ紹介させ、本時への興味をもたせる。</p>
<p>2 課題を解決する。</p> <p>自力解決の場</p> <p>(1) 個人で練習する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自信がないな。 ・家でもしっかり練習してきたから、早く紹介したいな。 <p>かかわり合う授業</p> <p>(2) 班でお話会をする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・お話会の仕方を確認する。 ①班で1人ずつ話す。 ②一番心に残ったことから話型を参考に書く。 ③「友だちと交流したよ」を手がかりに班の友だちに返していく。 ④「交流で～発見」を班で考える。 ・その時のがまくん、○○だよね。 ・私もそう思う。私も…だから。 <p>(3) 全体で交流する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ぼくは○○くんと似ていて…。 ・私は○○さんとちがって…。 <p>3 今日の学習の振り返りをする。</p>	<p>○話型を示し、自信をもって紹介することができるようにする。</p> <p>※好きな場面と人物について話す時は、特に自信をもって紹介することができるようにそばで聞き、励ましながら支援する。</p> <p>○お話会の進め方を説明する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・1人ずつ紹介する。 ・4人が終わったらワークシートの交流のところに感想を書く。 <p>☆『ぼく・わたしの大好きな登場人物をお話会で紹介し合う』というめあてに向かい、大好きな場面や人物をはっきりさせ、自分が読んだことを相手に意欲的に伝えようとしている。</p> <p>【関】(発言、大好きリーフレット、行動観察)</p> <p>○友だちと交流したよと交流でを行き来することを指示する。</p> <p>○全体で交流する際は、各班から代表者を選び交流させる。紹介してくれたことに対して返していくことを意識させる。</p> <p>○国語日記を書く。</p>
<p>4 次時の学習について知る。</p> <p>家庭学習のサイクル化</p> <p>家庭学習 お話会に向けてお気に入りの物語の大好きリーフレットで好きな場面と人物について紹介できるように練習してくる。</p>	<p>○次時は、お気に入りの物語のお話会をすることを伝える。</p>